

3PL事業(海外)

1976年のシンガポール進出以降、海外における事業拡大を続けており、2023年3月末時点で世界27の国と地域(日本を除く)に、474拠点の海外ネットワークを構築しています。

「グローバル3PLリーディングカンパニー」をめざす方針のもと、多様なサービスメニューでお客様のサプライチェーン戦略をサポートしていきます。

2022年度の実績

■ 業績(海外)

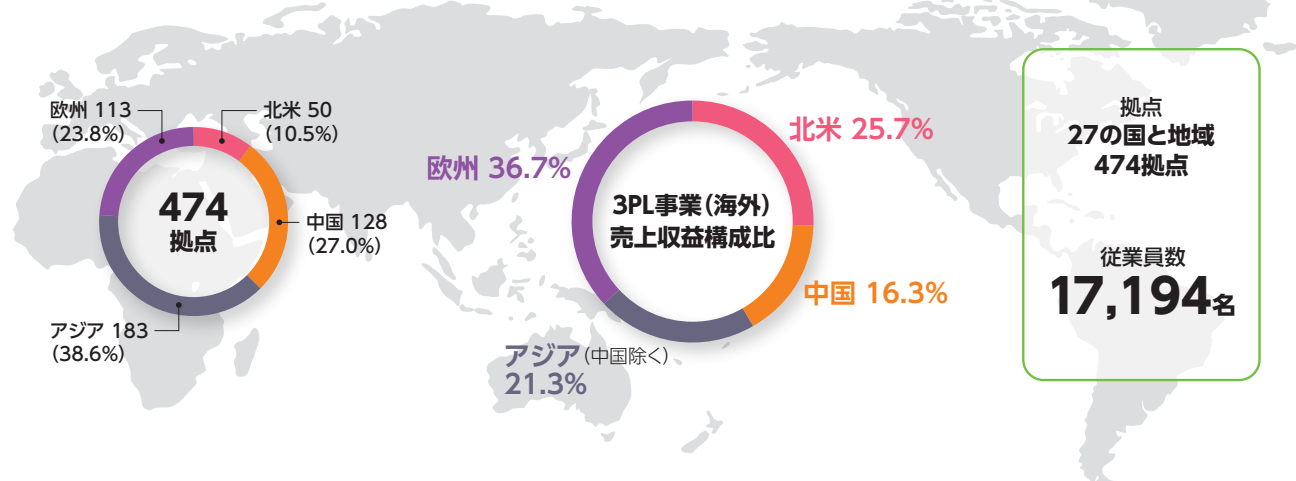
売上収益:

3,261 億円
(前年度比 +574億円)

営業利益:

183.7 億円
(前年度比 +60.3億円)

海外地域別売上収益構成比・拠点数(2022年度)



外部環境変化に伴う当社グループ事業への影響、地政学的リスクなどさまざまなリスクがある中で、当社グループの競争優位性であるグローバルサプライチェーンを支える474の事業拠点を活用し、各拠点で特色ある、充実した倉庫機能を提供し、環境負荷の少ない物流、サプライチェーンの脆弱性など社会課題のニーズに取り組みます。

中期経営計画LOGISTEED2024の重点取り組み事例

欧州

Cyber Freight International Holding社の子会社化、返品事業譲り受け、新技術の促進

2022年11月にCyber Freight International Holding社が当社の100%子会社となりました(→P25)。同社はオランダのスキポール空港近郊に本社、倉庫、航空事務所、ロッテルダム港近郊に海上事務所を有し、医薬・食品関連を中心に幅広いお客様にワンストップサービスを提供しています。今後、同社の有する医薬品輸送のオペレーションノウハウやネットワークを活用し、日系・外資系の医薬品顧客へ共同で営業展開を図ることで、グローバルにおける医薬品輸送事業の拡大を図ります。

またチェコでは、ESA社がEC事業者向けに返品物流事業(リバースロジスティクス)を譲り受け、アパレル品の返品業務を欧州域内ECのサービスメニューに加えさらなる事業展開をめざします(→P25)。ESG関連では、VANTEC EUROPE社が英国運輸省などが主催する「自動運転技術を活用した持続可能な商業サービスコンペティション受賞プロジェクト発表会」において、5Gを活用した遠隔監視による自動運転EVトラックのデモンストレーション走行を実施しました。今後もさまざまな協業・研究を通じ、豊かな社会づくりに貢献していきます。

現地法人社長メッセージ

当社は、2022年に新たにロジスティードグループに加わりました。医薬品、食品関連に特化した専門性を活かし、オランダで幅広い輸送、物流、付加価値サービスをワンストップサービスで提供しています。特に医薬品温度管理輸送における高品質なサプライチェーン構築に向けた取り組みを推進しています。中期経営計画にもある「海外事業の強化・拡大」において、欧州成長エリア・市場での事業拡大を進め、ロジスティードグループとともに成長していきます。

Willem Lodder
Cyber Freight
International Holding
B.V.
取締役社長



北米

3PL事業と輸送事業の拡大

2023年4月1日に既存グループ会社2社を合併し、LOGISTEED America社を設立しました。同社は、“Simple”、“Human”そして“Smarter”をキーワードに、米国内のきめ細かい対応からダイナミックな世界市場展開のサポートまで確実に対応し、お客様からの厚い信頼を得ています。2022年春、ジョージア州アトランタに大手建設機械メーカーの部品センターの運営を開始しました。同センターは、米国全域のディーラーの主要拠点として、さまざまな部品の保管・輸送を実施しています。今後もお客様の売上拡大をサポートするために、サービスメニューを拡充していきます。

現地法人会長メッセージ

近年、新型コロナウイルス感染症の拡大などの緊急事態が相次ぎ、サプライチェーンに深刻な影響をおよぼしています。そこで私たちは、世界中のネットワークと連携し、DXを駆使して、サプライチェーンのあらゆる側面を可視化・最適化しています。また地球温暖化防止の観点から、より効率的な輸送手段をお客様に提案し、温室効果ガス(CO₂)の排出量を削減するよう努めています。



Greg Kodama
LOGISTEED America, Inc.
取締役会長



中国

次世代物流への進化、自動化・省力化の進展

中国では、コロナ禍におけるサプライチェーンの分断に伴う企業の生産拠点移転等、物流事業を取り巻く環境が大きな変革期を迎えています。当社グループでは、多種多様な業種のお客様に向けて、搬送や流通加工等の工程を中心に、中国が開発で先行する自動化・省力化設備を積極的に導入することで、社会課題に対応した、人手に頼らない次世代の物流現場の実現に取り組んでいます。2022年度は天津地区、北京地区のお客様に対し自動化技術を導入することで物流現場の課題解決に取り組み、人件費の抑制、作業品質の向上等に成果を上げています。引き続き、IoT、AI・ロボティクス、DXによるイノベーションを推進し、物流現場の課題解決を図り、物流の持続可能性向上とサプライチェーンの強靱化を推進していきます。

担当役員メッセージ

中期経営計画「LOGISTEED2024」を着実に遂行するうえで、さまざまな『協創』を通じた課題の解決と『価値』の創出に取り組んでいます。

高度化・多様化・広範化しているグローバルサプライチェーンにおいて、安全・品質・生産性を追求し、当社の強みである現場力に、中国における次世代物流技術を積極的に導入することで、お客様から最も選ばれるソリューションプロバイダをめざします。



川北 剛史
業務執行役員
中国代表
(LOGISTEED China,
Ltd. 社長)



アジア

インド、タイにおける多機能型物流センターへの投資促進

経済成長率の高いアジア地域では、サプライチェーン全体最適化に向けた高付加価値ソリューションを展開するために、物流拠点戦略を積極的に推進中です。最重点国の一つであるインドでは、2022年10月にチェンナイにて倉庫を一部稼働させました。今後、デリー、ムンバイ、バンガロールにおいても倉庫を建設し、インド国内・国際輸送を組み合わせたワンストップサービスを提供していきます。またタイでは、バンコク近郊で約5.0万㎡の四温度帯の倉庫を建設中です。食品流通業界、高機能材メーカーほかに対して、高付加価値サービスを提供していきます。

担当役員メッセージ

2023年の世界経済成長率が2.8%へと鈍化すると予測されており(IMF2023年4月発表)、先進国の成長減速が特に顕著となる見込みですが、アジアの新興国および発展途上国は、5%強に達する見通しです。この成長マーケットにおいて、消費財の内需増への対応と生産財の輸出入への対応をしっかりと行います。また双方の事業基盤を強化するために倉庫などハード面とシステムなどソフト面を確実に整備し、当社グループの成長の原動力として、アジア圏リーディングカンパニーへの道を着実に歩んでいきます。



本田 隆一
業務執行役員
アジア代表
(LOGISTEED Asia-Pacific
Pte. Ltd. 取締役社長)
(LOGISTEED (Thailand),
Ltd. 取締役会長)
(Eternity Grand Logistics
Public Co., Ltd. 取締役会長)

